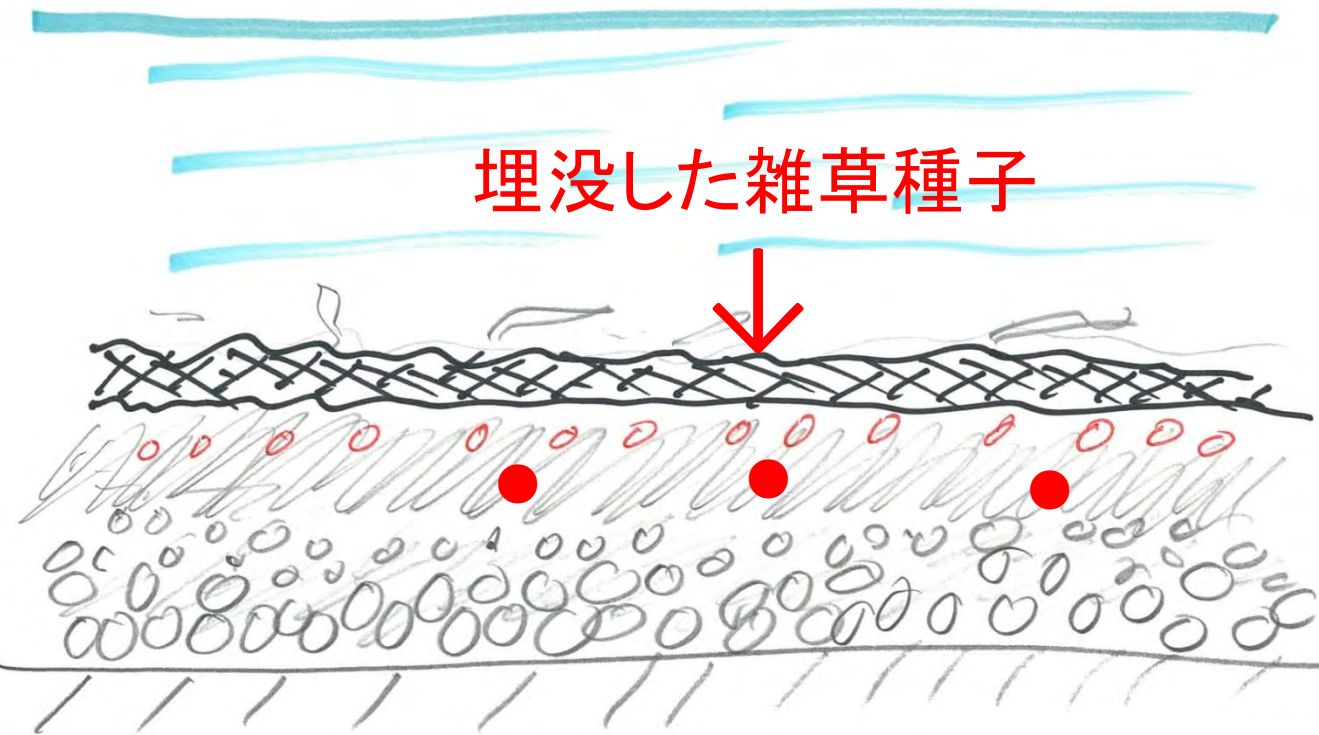
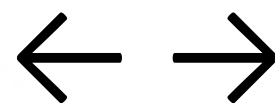


# ◆代かき後の層状に沈降して種子を埋没

表層にトロトロ層(酸化層)ができる  
=コナギの抑制効果

埋没した雑草種子

トロトロ層



# ◆ポット苗の田植え(土を露出させない)





◆ 田植え後は深水管理(7cm以上で2週間)  
苗は45~50株/3.3m<sup>2</sup>





◆ 浅水管理→トロトロ層が雑草を抑制している





# ◆ 無除草の有機栽培コシヒカリ(2022年)





# イネ・麦・なたね・大豆の輪作による 省力・低コストの循環型有機農業

田んぼの雑草も畑の雑草も少なくなる



## 循環型無農薬・有機農業の作付け体系

年次	作物	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
1年目	なたね	■					収穫							
	イネ・大麦					▽	●	■				収穫	▽	■
2年目	大麦・大豆	■					収穫							
	小麦							▽	■			収穫	▽	■
3年目	小麦	■					収穫							
	イネ・なたね					▽	●	■				収穫	▽	■

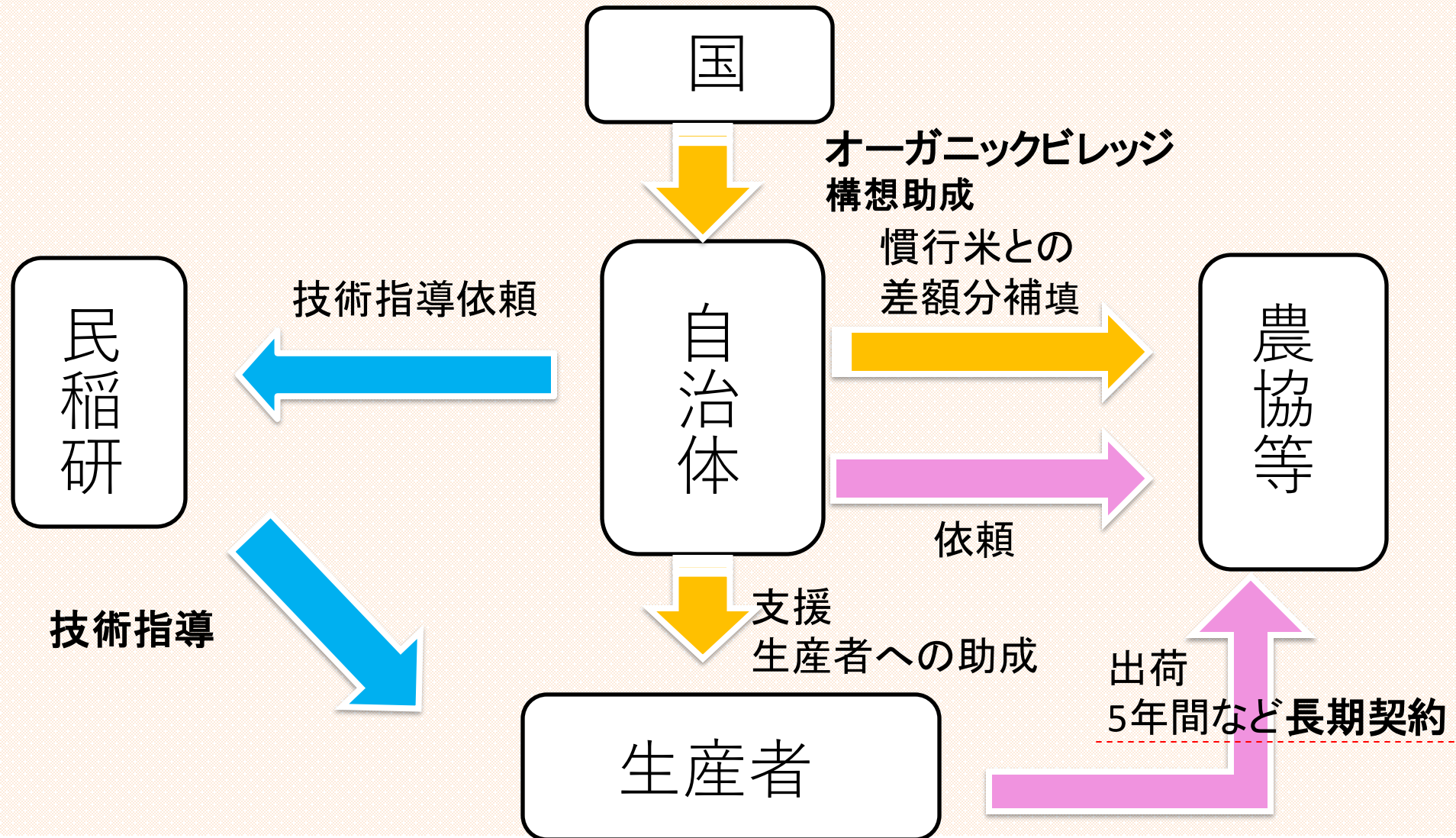
### 輪作体系を実現するための条件

- ① 汎用コンバインの整備(大豆・なたねの収穫作業)
- ② 汎用乾燥機及び大豆選別機(イネ・麦・大豆の乾燥)
- ③ ポット用播種機、田植機の導入  
(成苗ポット苗でないと小麦跡のイネは無理)

# ◆有機稲作技術による温暖化ガス抑制◆

- ①秋耕と土壌微生物によるの有機物分解の促進
- ②2交代かきは水田の微生物活性を高める  
植物プランクトンによる酸素がメタンを抑制
- ③深水代かきによって水中の酸素量を増やし  
メタンの発生を抑制する
- ④鉄イオンの還元がメタンの発生を抑制する
- ⑤田畑転換で雑草とメタン生成菌が減少する

# 民間稲作研究所と学校給食の関わり合い





# 有機給食の利点

- ① 食材の安全性と  
子供たちの健康
- ② 食育と環境学習効果
- ③ 地域社会とのつながり  
自然環境の維持  
地域社会の発展



◆ 地域循環型の有機稲作技術は気候変動を防ぎ、  
地球も生き物も健康に持続できる社会の基礎である

